

ふれ愛にしうち



第20号

太田西ノ内病院広報誌・第20号

発行／財太田綜合病院附属太田西ノ内病院

編集／太田西ノ内病院広報委員会

発行日／平成19年2月

住所／郡山市西ノ内2丁目5番20号 TEL (024) 925-1188

ホームページ：<http://www.ohta-hp.or.jp/>



診療科紹介

脳神経外科

脳神経外科は、主に中枢神経系疾患の外科的治療（手術）を担当する診療科です。脳血管障害（脳卒中、脳出血、脳梗塞、くも膜下出血）、頭部外傷、脳腫瘍などが主な診療対象ですが、その中で本当に手術が必要な患者さんを見極め、各々の患者さんにとって最も良いと考えられる治療を行っています。

近年、診断・治療機器の発展はめざましく、脳神経外科領域でも様々な変化が起こって来ました。その一つが血管内治療の導入です。例えば、くも膜下出血の原因である脳動脈瘤の治療法も、外科的手術によるクリッピングだけでなく、カテーテルを用いたコイル塞栓術も広く行われるようになって来ました。当科では早くから血管内治療を取り入れ、従来の手術を含めて、より良いと考えられる方法で治療にあたってきました。

そのほかにも血管内治療は、脳血管内の血の固まりを溶かしたり、狭くなった血管を広げたり、腫瘍を栄養している血管を詰めたりと色々な治療に用いられています。

次に局所放射線治療が挙げられます。

す。これは周りの正常組織への影響を最小限にして、病巣へ集中的に放射線治療を行うものです。当院に導入されたのは、最新鋭の放射線治療装置、いわゆるX-ナイフと呼ばれる装置で、病巣の種類・大きさによって、手術することなく、あるいは手術との組み合わせによって、病巣を縮小させたり、増殖を抑えたりすることが可能となりました。放射線治療専門の医師に依頼し、協力頂いて患者さんにとってより良い、また負担の少ない治療ができるよう心がけています。

またMRIも、平成18年11月に1台から2台に増設されました。これまでは1台のMRIを最大限に稼働して対応して来ましたが、検査までの期間が長くなってしまい、皆様には大変ご迷惑をおかけ致しております。増設後は、より早いペースで検査が可能になる様、関係スタッフ一同努力しております。

現在、脳血管障害による死亡順位は癌、心臓疾患に次いで第三位となっています。高血圧症を中心とした生活習慣病への関心が高まって、そ

の啓蒙が進み、特に高血圧性脳内出血の死亡率が急激に減少しました。それに伴って脳血管障害全体の死亡率は減少して来てはいますが、脳血管障害に罹患する患者さんの数はいまだに増えて来ています。脳血管障害は依然として日本人の国民病なのです。脳血管障害患者さんの多くが、ご家族に依存する生活を余儀なくされたり、また多くの社会的・看護サービスが必要とされたりしているのも事実です。皆様には普段から脳卒中の予防に心がけて頂き、不安に思う事、心配な事がありましたら、気軽に声をかけてくださいます様お願い致します。

現在、脳神経外科は常勤医3名で診療を行っており、3名とも日本脳神経外科学会認定専門医です。また、3名のうち2名が日本脳卒中学会専門医、1名が日本脳神経血管内治療学会専門医です。外来は月曜日から土曜日の午前中で、火・金曜日の午後は福島医大からの応援を頂いておりますが、緊急の患者さんには、関係各科・スタッフの協力

を頂き、24時間体制で診療にあたっています。脳神経外科の病棟は5号館6階にあり、神経内科との混合病棟です。これからも皆様が安心して治療を受けられ、最善の結果が得られる様スタッフ一同努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

（藤田隆史）



脳神経外科スタッフ

西ノ内見聞録

5D病棟

「笑顔と思いやりの心」で接します。



5D病棟スタッフ

5D病棟は、2号館のD棟5階にあります。腎臓内科、泌尿器科、皮膚科、放射線科の混合病棟で46床を有します。病棟フロアには、四季の花々を飾り、癒し

の空間になるように日頃から心掛けています。

各科の内容を紹介します。腎臓内科は、腎炎、ネフローゼの診断と治療を行います。腎生検の結果によりステロイド剤や免疫抑制剤の治療、血管拡張剤の点滴治療が行われます。腎不全では保存的治療の他、血液透析や腹膜透析の導入、時にはシャント造設の手術が必要となり、ビデオやハンドブックを使用して、より良い透析生活を送っていただく為の学習を行います。泌尿器科では、尿路感染症や結石、腫瘍の疼痛コントロールなどを中心に行っています。皮膚科では、中毒疹や全身性の水疱症などでステロイド療法などを行い、放射線科では、腫瘍の範囲を確認するために血管造影検査で入院されます。放射線科以外は、いづれも長期入院を余儀なくされることが多く、不安やストレスを抱える場合も少なくありません。私達は日々、ステロイド治療中の患者様へ感染予防に努め、また、精神的変化を観察してサポートを行っています。同時に、安全かつ過ごしやすい入院生活を送っていただけるように笑顔と思いやりの気持ちを大切にしていきたいと思っています。

(佐久間貞子)

ここでは、西ノ内病院の各病棟・外来・その他さまざまな部署に潜入し、その内容にせまってみたいと思います。

内視鏡室

「安全に、安楽に、安心して、検査・治療ができる環境と看護の提供」



内視鏡室スタッフ

内視鏡室は、本館2階東棟にあり、平成18年6月より、拡張されて、リカバリ室としてストレッチャー3台、咽頭麻酔用のリクライニングチェア3台、トイレ、更衣室、BGMが設置され、快適なアメニティが提供できるようになりました。

た。患者様からも「広くなってきれいになったね」「BGMは、ここだけなんですか？いいですねー」などの好評な御意見を頂いております。

皆様も、御存知かと思いますが、内視鏡は、検査のみならず、治療でもめざましい進歩を遂げております。早期の癌ならば、殆ど内視鏡で切除できます。ちなみに、昨年の治療件数は、上部127件、下部のポリペクトミーは、259件となっており、又、検査件数では、上部で約6000件、下部で約2300件、その他を入れると、総検査・治療件数は、9000件を超えました。これらを看護師7名と、消化器科医師、消化器外科医師で、施行しております。

病気の早期発見の為には、健診での胃カメラ検査があります。これは年間500件ぐらい施行しております。胃カメラは、飲む時は少し大変ですが、一度で済むというメリットもありますので、選択して頂ければと思います。

今後も、安全、安楽、安心をモットーとして検査・治療を進めていきたいと考えておりますので、不安な事がございましたら、遠慮なく御相談下さい。

(佐久間太利雄)



リハビリあれこれ⑧ 作業療法科の紹介③ 発達領域の作業療法

作業療法科には精神科領域、身体障害領域の他に発達領域における作業療法があります。発達領域では生まれつき障害を持ったお子さんや後天的に障害を持ってしまったお子さんの機能訓練、発達が遅れているお子さんに対する発達支援、ちょっとした落ち着きがない子、友達と上手に関われない子、読み書きや計算が苦手な子、不器用なお子さんなどに対する療育支援などを行っています。乳幼児期では運動発達や精神発達に対する援助を、幼稚園に入園する頃には集団生活を送るための対人技能や食事・トイレ・着替えなどの日常生活技能を、就学児には学習するための能力の獲得というように、お子さんによって発達段階に応じた課題があり、一人一人に異なる支援が必要になります。

作業療法では様々な作業活動を用いて治療を行います。お子さんの発達にとって一番大切なことは、豊かな遊びを経験することであり、その遊びが重要な作業活動となります。遊びは子供にとって、情緒を安定させる力、人と関わることを学び社会性をつける力、物を操作する力、問題を解決する力などを身につける為には様々な働きを持つと言われています。幼少期における運動発達、言語発達、日常生活技能、社会性、対人技能等の学習、習得は全て遊びを通して行われます。発達段階に見合った遊びを提示し、その中

に必要な感覚刺激であったり、運動機能に対する働きかけ・援助を行い、お子さんの自発性を促し、種々の技能を獲得していけるように調整・設定を行うことが発達領域の作業療法士の役割の一つです。

また、当院にはNICU（新生児集中治療室）病棟があるため、予定日より早く、小さく生まれたお子さんに対して早い時期からリハビリテーションを行っています。NICUでは、本来お子さんが発達していくべき機能を獲得するために、お母さんのお腹の中にいるような安心できる姿勢作りや感覚刺激を与えるなどの環境調節からリハビリテーションを開始していきます。早期からリハビリテーションを開始することはお子さんの能力を最大限に引き出すことにもつながると言われています。早期治療・長期フォローアップを目標に、退院後も必要に応じ発達支援を行っています。

お子さんの発達に関するご家族の不安は大変なものだと思います。私たちは作業療法士は、ご家族の不安を少しでも軽減出来るよう、そして、お子さんの成長をご家族と一緒に喜び合えるよう、日々努力しています。

（作業療法士 国分 裕子）



ブランコ楽しいな♪

放射線あながな⑧

CT検査の応用・被曝の問題

前回からの続き
機器の進歩により、かなり小さい物も見えるようになり、しかも立体的に身体の中を見ることができるようになりました。これにより、適応となる病気の種類も増え、より患者様の為になるものとなりました。当院で行っているCT精密検査の一例です。



肋骨



脳血管



肝臓腫瘍血管



宗腹部大血管

先にも述べていますが、CT検査は、X線を使用しています。よって検査を受けると放射線被曝をします。被曝の程度は、胎児以外の人間には、ほとんど影響ない位です。胎児には、とても放射線に敏感な時期があるのです。ですから、妊娠している女性の方、またその可能性のある若い女性は、検査前に申し出て下さい。その他、放射線被曝、検査に対する不安な事などありましたら、お気軽にスタッフに声をお掛けください。

（大原 亮平）

新MRI装置導入

待望のMRI装置、二台目の導入を行ないました。現在MR検査はCT検査とともに日常診療に不可欠な存在となっています。これまで、一台のMRI装置で検査を行ってきましたが、各科からの検査依頼の増加に対応できず、検査待ち日数が、三週間ほどになってしまいい患者様には、大変ご迷惑をお掛けしておりました。今回導入したMR装置は、高性能で短時間の検査が可能であり検査待ち日数の短縮、検査時間の短縮、検査精度の向上が可能になります。

待ください。

尚、7月下旬より地下MR室付近の改装工事では何かとご迷惑をお掛けいたしました。

また、GE社製ネットワークによるPACS（画像配信システム）も同時に稼動しております。一般撮影を含めCT、MR、RI、心臓カテーテル動画も院内各端末PCで参照する事が可能となりました。今後の電子カルテ・フィルムレス化にも対応出来るシステムです。

（放射線部）

この装置はドイツSIEMENS社製 MAGNETOM Avanto SQと言う装置で、SIEMENS社製の最高機種であり全国でも数台しかありません。勿論、福島県内では初めての導入となります。

・特徴として、高性能傾斜磁場と静音性が両立されています。またテーブル移動のみで全身検査が可能となり、全身の転移巣の検索に続き抽出された病巣を精査できることは包括医療に対しても大きな利点となります。

この最新装置の技術修得のため担当放射線技師が厳しいトレーニングを行っており安全に、正確に検査を行なっております。ご期



彩食健美

赤魚の香り蒸し



【材料】（2人分）

赤魚（白身魚）	2切れ	サラダ油	5g
塩	適宜	塩・こしょう	適宜
酒	適宜	しょう油	小さじ2
葱	1本	A食酢	小さじ1
根生姜	適宜	ごま油	小さじ1
白菜	300g	かいわれ大根	適宜

（1人分）エネルギー 135kcal
たんぱく質…14.5g 塩 分…5.4g

白菜は、霜が降りるころになると芽の成長が抑えられ、糖分が蓄えられるために甘みが増して美味しくなります。

白菜には、体から塩分を排出しやすくするカリウム、風邪予防のビタミンC、便秘予防の食物繊維、発ガン物質の毒性を焼失させるインドールなどの栄養成分が凝縮されています。くせのない淡白な味わいが煮物・鍋物・炒め物や漬物・サラダなど多様な料理に重宝されます。選ぶ時のポイント

◇外葉が大きくしつかりまいてあるもの
◇白い部分がみずみずしく、ツヤがあるもの
◇株の切り口がみずみずしいもの

カットされているものは、時間が経過すると真中の芯が盛り上がってきます。保存がきく野菜なので、冬なら、まるのまま3〜4週間は持ちます。新聞紙に包んで寒いところに立てておきましょう。切つてあるものはラップをして冷蔵庫で保管してください。秋から冬の食卓には欠かせない白菜とあつさりした白身魚を香味野菜で蒸した一品をご紹介します。ごまの風味でお召し上がり下さい。

（作り方）

- ① 魚に塩・こしょうをする。
- ② 葱は5cmに切り外側はせん切り・芯はみじん切りにする。根生姜はみじん切り、白菜は2cmのざく切りにする。かいわれ大根は根を切り落とし水洗いをする。
- ③ 白菜を炒めて塩・こしょうをする。
- ④ 皿に魚を並べ、みじん切りにした葱と根生姜を魚の上にのせて、約10分間蒸す。
- ⑤ Aの調味料を合わせておく。
- ⑥ 盛り皿に炒めた白菜を敷き、④の魚をのせ⑤の調味料をかける。
- ⑦ せん切りした葱とかいわれ大根を上のにせる。

オープンシステム情報ネットワーク



太田西ノ内病院では、患者さんに
質の高い医療を受けていただくた
めに、開業医の先生方と連携をむす
んでいます。ここでは、太田西ノ内
病院オープンシステムの登録医療
機関、登録医師のご紹介をしていき
ます。

さいとう医院



橋本医院



橋本医院

所在地/〒963-3402

田村郡小野町大字谷津作字馬場70の1

電話/0247-72-3711

FAX/0247-72-4773

診療科/内科・小児科・胃腸科・アレルギー科

休診日/水曜、土曜の午後・日曜・祝祭日

診療時間/月・火・木・金曜日

午前9:00~12:00

午後2:00~ 5:30

水曜日

午前9:00~12:00

土曜日

午前9:00~午後1:00



橋本院長先生とスタッフのみなさん

来院される方々の家庭医として健康管
理を行なえるようスタッフ全員で毎日を
過ごしています。幅広い分野の勉強会を
通じ、医学の進歩に遅れないように努め
てはいますが必要な時にはすぐに専門の
先生に相談し、病気の予防と、早期診断、
早期治療を行なえるように心掛けていま
す。

今後でもできるだけ多くの人々に喜んで
いただける医療を行なえるよう努力して
ゆきたいと思っておりますのでどうぞよろしく
お願い申し上げます。

登録医から

院長 橋本 長吉
昭和56年 福島県立医科大学卒業
同年 同大学第2内科入局
平成元年 医学博士号取得
平成4年 福島県立医科大学輸血部
平成17年 橋本医院開院
橋本クリニック開院

橋本クリニック

所在地/〒969-1203

本宮市白岩字馬場110の1

電話/0243-64-2552

FAX/0243-44-1101

診療科/内科・小児科・胃腸科

アレルギー科

診療日/水曜日

午後3:00~8:00

さいとう医院

所在地／〒970-1374
田村郡小野町大字小野新町字中通59-1
電話／0247-72-2500
FAX／0247-72-2540
診療科／外・整・内・小・皮・泌・リハ
休診日／木曜日午後・日曜・祝祭日
診療時間／月・火・水・金
午前 9:00～午後1時
午後 2:30～6:30
木曜日
午前 9:00～午後1時
土曜日
午前 9:00～午後1時
午後 2:30～5:00



齋藤升男先生とスタッフのみなさん

院長 齋藤 升男
昭和44年3月 福島県立医科大学卒業
昭和44年4月 福島県立医科大学第一外科入局
昭和49年 公立小野町地方総合病院外科勤務
平成2年10月 現在地に開業

平成2年10月、それまで17年間勤務していた公立小野町地方総合病院を退職し、当地に開業して現在に至っております。恩師より教示された「寛仁」を信条とし患者さんの話をよく聞く事を診療の基本と考え、患者さん本位の医療を心がけております。幅広い年齢層の患者さんが来院される中で適切な判断と治療診断を心がけ、各種機器の導入も進め、より精密な診断を心がけております。又、病診連携を密に活用させて頂き、スビーディーな紹介等をさせて頂いております。

年々高齢化が進む中で往診も含め在宅医療にも力を入れているところでもあります。

これからも、かかりつけ医の重要性と使命のもと、地域医療に貢献していきたいと考えております。

登録医から

第14回オープンシステム(開放型病院)勉強会

太田西ノ内病院地域医療連携室主催の勉強会が平成18年11月22日(水)、郡山ビューホテルで開催されました。回数も14回を数えオープンシステムを始めて7年過ぎたことになります。地域の開業医の先生方(オープンシステム登録医)と当院職員(医師・co-medical・事務系含む)とが一同に会して最新の医療や症例・トピックスなどを勉強し、また懇親を深めて日常の病診連携をスムーズに行うことを目的としております。

今回は西ノ内病院栄養部増子マキ子科長が厚生労働大臣表彰を受けたこともあり、今話題のメタボリック症候群特集としました。初めに総合診療科部長太田昌宏先生より「メタボリック症候群の診断と治療～最近のエビデンス～」と題して基調講演をしていただきました。続いて「内臓脂肪を減らす運動療法」を運動療法室室長補佐の星野武彦さんから、講演していただきました。とてもユーモアのある楽しい話で参考になる内容が盛りだくさんでした。楽しく継続できる運動療法を提供していきたいとの事でした。最後に増子科長から「メタボリック症候群の食事療法」を専門家の立場から詳細にお話いただきました。食事の大切さを再認識すると共に、登録医の先生方からの栄養指導の紹介がもっと増えることを期待します。懇親会では太田名誉理事長よりご挨拶をいただき登録医の先生方と楽しい一時を過ごすことができました。今後も勉強会は継続していきたいと思いますが、現在の形式でよいのか、新たな企画に変更するべきか登録医の先生方のご意見を是非お聞かせください。

(西ノ内病院 副院長 迎 愼二)



★21世紀の申し子たち★

太田西ノ内病院で生まれた赤ちゃんを毎回紹介していきます。

質問

- ①生まれた時の感想
- ②子どもに願うこと
- ③ご両親の決意を一言

デ
ー
タ

さとう 佐藤 連くん

- 平成18年9月27日
17時24分生まれ
- 体重3615g
- 父：佐藤 郁彦さん
母：佐藤佳也子さん



デ
ー
タ

ねもと 根本 聖くん

- 平成18年9月26日
15時37分生まれ
- 体重3100g
- 父：根本 治さん
母：根本 智子さん



連くんとお母さん

- ①無事に産まれてくれて良かったあ!!
- ②正直な子
- ③夫婦間のキズナをより深めて、この子を守り育てよう。
だんな様には禁煙してもらいたいです。



聖くんとお母さん

- ①無事に産まれて良かった。
- ②兄がいるので兄弟仲良く、元気に育って欲しい。
- ③家族が1人増えたので、4人での楽しい思い出をたくさん作ろう。

投稿募集

太田西ノ内病院広報委員会では皆様からの原稿・写真等を募集しております。
今後の広報誌に掲載してほしいものがありましたら、広報委員会までご連絡下さい。

編集後記



皆さんは西ノ内病院の
中庭に大きな金木犀があ
ることを御存じですか。
秋になると香りの高い赤
黄色の花を咲かせます。
私は金木犀の香りで秋祭

りを思い出します。私の幼少の頃は町内の秋祭りも
賑わいワクワクする楽しい行事でした。今は家族単
位で出かける事が多く少子化もあり祭りを運営する
事も大変だと聞きます。しかし伝統や風習も徐々に
見直されてきていると思います。一つの事を協力し
成し遂げる事の大切さや達成感が感動を生むのです。
その感動を与えてくれたのが昨年の夏の高校野球で
した。決勝戦延長15回引分け再試合は名勝負でした。
「ハンカチ王子」こと斎藤君のさわやかさがクローズ
アップされてしまいました。チーム一丸となり野
球に打ち込む姿が感動を呼んだのだと思
います。青少年犯罪が増加し「きれる子供」という言
葉が聞かれる一方、子供の虐待も増えている悲しい
現状があります。

以前皇太子さまがある会見の時に引用された詩
「子しも」の中に批判ばかりされた子供は非難するこ
とをおぼえる。寛容であった子供は忍耐をおぼえる。
可愛がられて抱きしめられた子供は世界中の愛情を
感じとることをおぼえるとありました。私たち大人
が子供を見守り育てていく責任を担っていかねば
ならないのだと思います。親の背なかなを見て子は
育つと思いますが、私も愛情いっぱいの子供の背な
かを持ち続けたいと思っています。
(大内智子)

太田西ノ内病院広報委員会

委員長 須田 秀一
委員 後藤 桂子・佐藤 彦衛
大内 智子・松田美津子
柳沼 清一・増子イヅミ
鈴木 理恵・新里 昌一
中嶋 健起
佐藤 浩徳(幹事)